

受検番号	第	番
------	---	---

学校選択問題

数 学 第 1 回

(時間 50 分)

注 意

1 解答用紙について

- (1) 解答用紙は1枚で、問題用紙にはさんであります。
- (2) 係の先生の指示に従って、所定の欄2か所に受検番号を書きなさい。
- (3) 答えはすべて解答用紙のきめられたところに、はっきりと書きなさい。
- (4) 解答用紙は切りはなしてはいけません。

2 問題用紙について

- (1) 表紙の所定の欄に受検番号を書きなさい。
- (2) 問題は全部で5問あり、表紙を除いて10ページです。
- (3) 問題用紙の余白を利用して、計算したり、図をかいたりしてもかまいません。

3 解答について

- (1) 答えに根号を含む場合は、根号をつけたままで答えなさい。
 - (2) 答えに円周率を含む場合は、 π を用いて答えなさい。
- 印刷のはっきりしないところは、手をあげて係の先生に聞きなさい。

1 次の各問に答えなさい。(45点)

(1) $10x^3y \div \left(-\frac{5}{4}xy^2\right) \times (-2y)^2$ を計算しなさい。(4点)

(2) $x = 2 + \sqrt{3}$, $y = 2 - \sqrt{3}$ のとき, $x^2 + 4xy + y^2$ の値を求めなさい。(4点)

(3) 2次方程式 $4(x+1)^2 - (x+1) - 5 = 0$ を解きなさい。(4点)

(4) 右の表は, 中学生 30 人があるゲームをしたときの得点を度数分布表に表したものです。この表から読みとることができる内容として正しいものを, 次のア~エの中から一つ選び, その記号を書きなさい。(4点)

得点(点)		度数(人)
以上	未満	
0 ~	10	4
10 ~	20	6
20 ~	30	11
30 ~	40	7
40 ~	50	2
合計		30

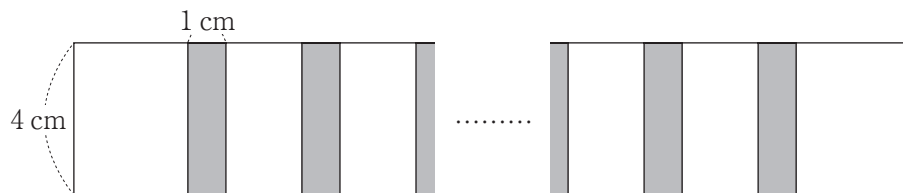
ア 最頻値は 11 である。

イ 中央値は 25 点である。

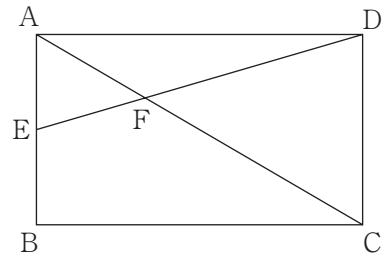
ウ 平均値は 24 点である。

エ 20 点以上 30 点未満の階級の相対度数は 0.7 である。

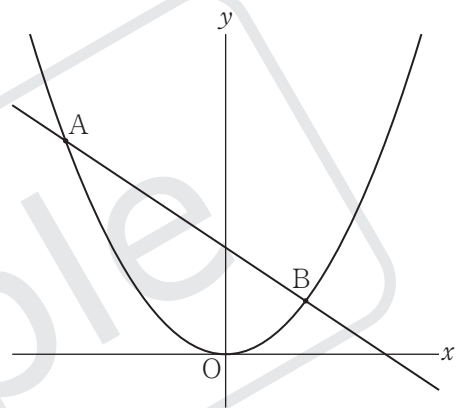
(5) 下の図のように, 一直線上に 1 辺が 4 cm の正方形を, 辺が 1 cm ずつ重なるようにかいていきます。正方形を x 個かいたとき, かげ(■)をつけた重なる部分の面積は, 重ならない部分の面積より 40 cm^2 小さくなりました。このとき, x の値を求めなさい。(4点)



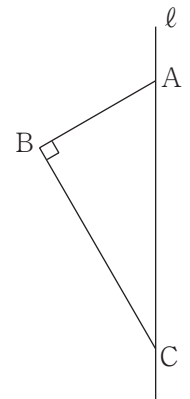
- (6) 右の図のような長方形 ABCD があり、辺 AB の中点を E とします。線分 AC と線分 ED との交点を F とするとき、四角形 EBCF の面積は $\triangle AFD$ の面積の何倍になるか求めなさい。(5 点)



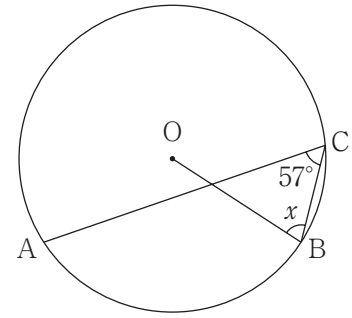
- (7) 右の図のように、関数 $y = ax^2$ のグラフと、切片が 4 である一次関数のグラフが、2 点 A, B で交わっています。点 A の x 座標が -6 、点 B の x 座標が 3 であるとき、この一次関数の式を求めなさい。(5 点)



- (8) 右の図のような、 $AB = 4 \text{ cm}$, $\angle BAC = 60^\circ$, $\angle ABC = 90^\circ$ の $\triangle ABC$ があり、2 点 A, C を通る直線 l をひきます。このとき、 $\triangle ABC$ を、直線 l を軸として 1 回転させてできる立体の体積を求めなさい。(5 点)

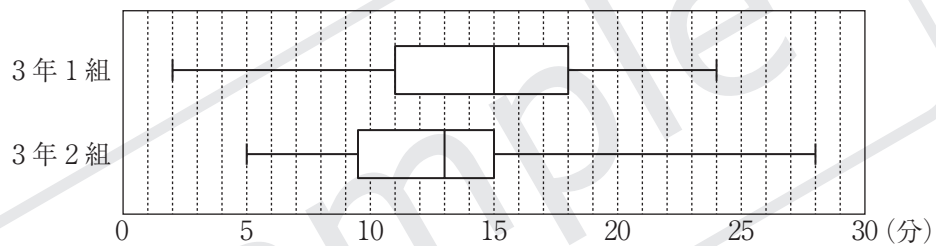


- (9) 右の図のように、点Oを中心とする円Oの円周上に
 $\widehat{AB} : \widehat{BC} = 3 : 1$ となるような3点A, B, Cをとります。
 $\angle ACB = 57^\circ$ であるとき、 $\angle OBC$ の大きさ x を求めなさい。
 (5点)



- (10) 次は、先生とSさん、Tさんの会話です。これを読んで、下の間に答えなさい。

先生「先日、3年1組の生徒35人と3年2組の生徒35人を対象に、通学時間についてのアンケートを行いました。次の図は、3年1組の生徒35人と3年2組の生徒35人の通学時間を箱ひげ図にそれぞれ表したものです。これを見て、気づいたことを話し合ってみましょう。」



Sさん「2つの箱ひげ図を見ると、3年2組の方が通学時間が短い生徒が多いようだね。」
 Tさん「だけど、最も短い通学時間を比べると、3年1組の方が通学時間が短いよ。それでも、3年2組の方が通学時間が短い生徒が多いといえるのかな。」
 Sさん「例えば、通学時間が10分以下の生徒の人数を比べると、

I

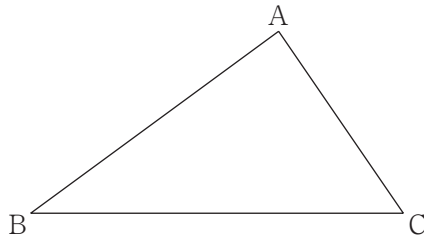
だから、通学時間が10分以下の生徒は3年2組の方が多いよ。」

- 問 会話中の I にあてはまる、通学時間が10分以下の生徒が3年2組の方が多い理由を、具体的な生徒の人数を用いて説明しなさい。(5点)

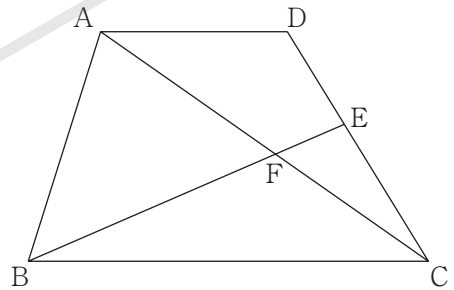
2 次の各問に答えなさい。(13点)

- (1) 下の図のような $\triangle ABC$ があります。辺BC上にあり、 $\triangle ABP$ の面積が $\triangle APC$ の面積の3倍となるような点Pをコンパスと定規を使って作図しなさい。

ただし、作図するためにかいた線は、消さないでおきなさい。(6点)



- (2) 右の図のように、 $AD \parallel BC$ 、 $AC = BC$ の台形ABCDがあります。辺CD上に点Eをとり、線分ACと線分BEとの交点をFとすると、 $\angle EFC = \angle ECB$ となりました。このとき、 $BF = CD$ であることを証明しなさい。(7点)



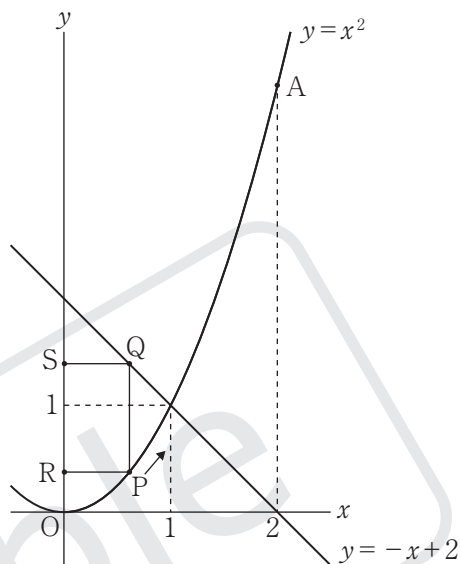
3 次は、ある数学の【問題】について、先生とFさん、Gさんが会話している場面です。これを読んで、あとの各問に答えなさい。(13点)

先生「次の【問題】について、考えてみましょう。」

【問題】

右の図のように、放物線 $y = x^2$ 上を点Pが原点Oからx座標が2である点Aまで動きます。点Pのx座標を $t (0 \leq t \leq 2)$ として、点Pを通りy軸に平行な直線と直線 $y = -x + 2$ との交点をQとします。また、点P、Qを通り、x軸に平行な直線とy軸との交点をそれぞれR、Sとし、長方形PQSRをつくります。

長方形PQSRが正方形になるときの点Pのx座標をすべて求めなさい。



Fさん「辺RPと辺QPの長さが等しいときを考えたらいいのかな。」

Gさん「そうだね。点Pと点Qのx座標はそれぞれ t なので、辺RPの長さは と表せるよ。ただ、 $t = 0$ の場合は辺RPの長さが0だから、除いて考える必要があるね。辺QPはどうか。」

Fさん「辺QPは、 $t = 1$ の場合に長さが0だから、除いて考える必要があるね。 $0 < t < 1$ の場合、点Pと点Qのy座標から、辺QPの長さを t を使って表すことができるよ。」

Gさん「そうだね。でも $1 < t \leq 2$ の場合は、辺QPの長さは $0 < t < 1$ の場合とは違う式で表さなければならないよ。」

Fさん「なるほど。すると $1 < t \leq 2$ の場合も、辺QPの長さを正しく表すことができれば、【問題】は解けそうだね。」

先生「そのとおりです。それでは、【問題】を解いてみましょう。」

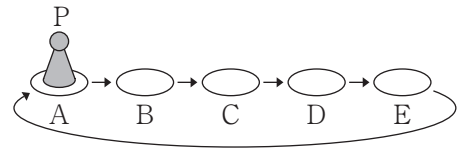
(1) ア にあてはまる式を, t を使って表しなさい。(4点)

(2) 下線部の理由を, 点 P と点 Q の y 座標にふれながら説明しなさい。(5点)

(3) 長方形 PQSR が正方形になるときの点 P の x 座標をすべて求めなさい。(4点)

Sample

4 右の図のような, A, B, C, D, E の5つのマス目と, マス A に置かれているコマ P があります。次の【ルール】に従って, コマ P を, 矢印の方向に動かす操作を行うとき, あとの各問に答えなさい。



ただし, 硬貨の表と裏の出かたは, 同様に確からしいものとします。(17点)

【ルール】

- [1] 1枚の硬貨を投げ, 表が出たら2マス分, 裏が出たら3マス分, コマPは進んで止まる。
- [2] [1]をくり返し, コマPがマスEに止まったとき, 操作は終了する。

(1) 硬貨を2回投げたときに, 操作が終了する確率を求めなさい。(5点)



(2) 次の①, ②に答えなさい。

① コマPがマスEを**1回**だけ通り過ぎてから, 操作が終了する場合の数は何通りあるか求めなさい。(6点)

② コマPがマスEを**2回**だけ通り過ぎてから, 操作が終了する場合の数は何通りあるか求めなさい。(6点)

Sample

- 5 図1のように、1辺の長さが8 cmの立方体 $ABCD-EFGH$ があり、辺 BF の中点を M とします。図2は、3点 C, E, M を通る平面と辺 DH との交点を P とし、立方体 $ABCD-EFGH$ を平面 $CMEP$ で切ったあとにできる立体のうち、頂点 G を含む方の立体です。
- このとき、あとの各問に答えなさい。(12点)

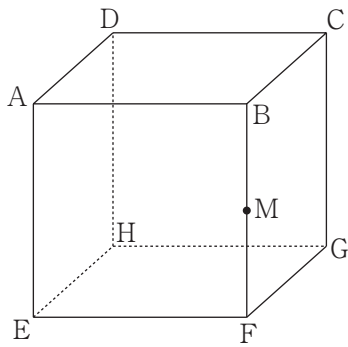


図1

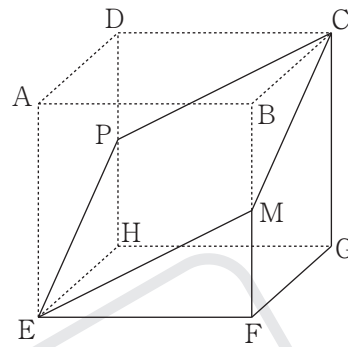


図2

- (1) 図2の四角形 $CMEP$ の面積を求めなさい。(6点)

- (2) 図3は、図2において、頂点Gから面CMEPに垂線をひき、面CMEPとの交点をIとしたものです。このとき、三角錐CIMGの体積を求めなさい。(6点)

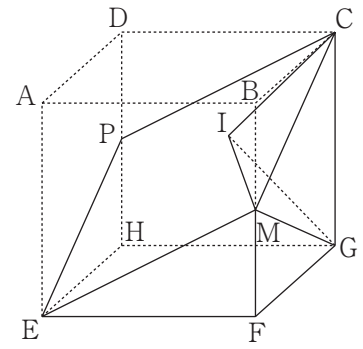


図3

Sample

(以上で問題は終わりです。)